



Tokushima City
Medical Association

在宅医療 先進地域情報フェスタ

平成27年3月1日
徳島市医師会
豊田健二



Tokushima City
Medical Association

徳島市医師会

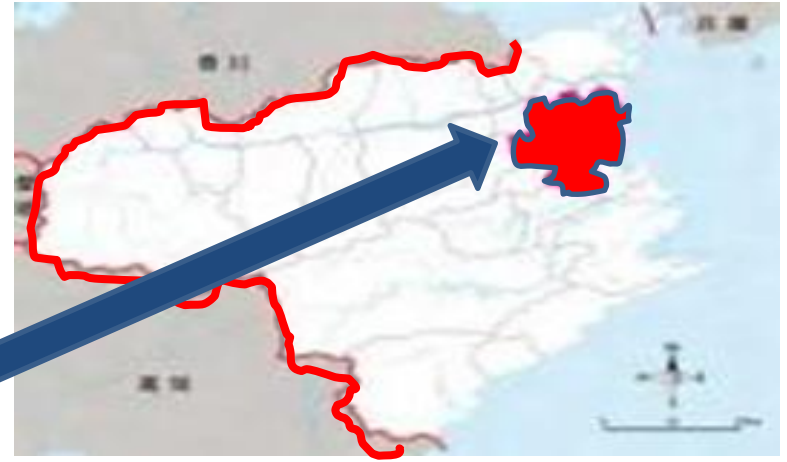
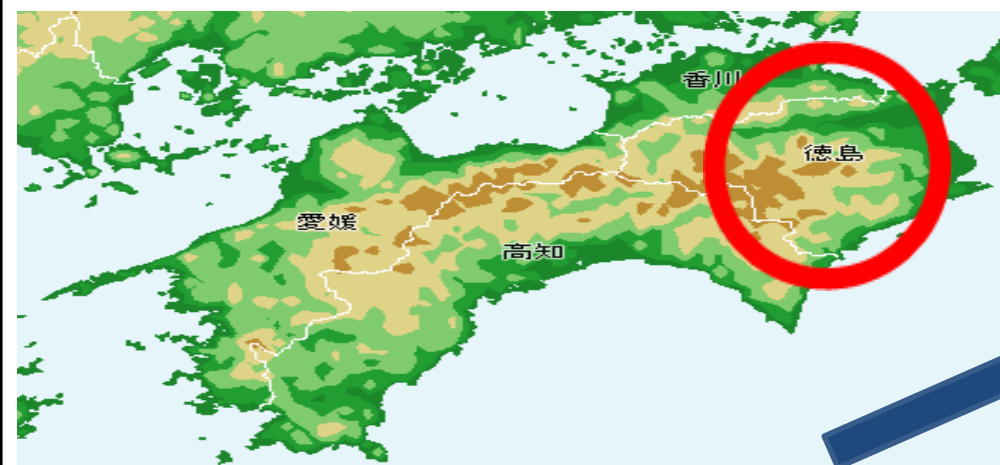


在宅医療の整備のポイント

市町村行政に、どう動いてもらう？

地域格差を、どう解消する？

徳島市



総人口 **256,994**人 (人口密度 1,344人/km²)

高齢者人口 **68,218**人 (高齢化率 **26.5%**)





徳島市の強み

1. 地理的に恵まれた環境
2. 医療・介護の資源が豊富





地理的に恵まれた環境

面積 **191.7** km²(東西16km 南北19km)

※県庁所在地で45番目の広さ (名古屋市の57%)

地理 北部は平野部。西部南部に一部山間部。坂なし。

平均気温 **16.8**°C 年間晴れ日数 全国 **3** 位



平坦で、気候が良く、コンパクトな市！



医療・介護の資源が豊富

医

療

診療所数 256機関 (支援診69)〔人口10万人当り数 全国第4位〕

病院数 47機関 (支援病 12) がん連携拠点病院 4 か所

歯科診療所数 180機関 (歯援診 38機関)

薬局数 155機関 (訪問薬剤管理指導可能63)

訪問看護ST 29か所〔人口10万人当り数 全国第3位〕

介

護

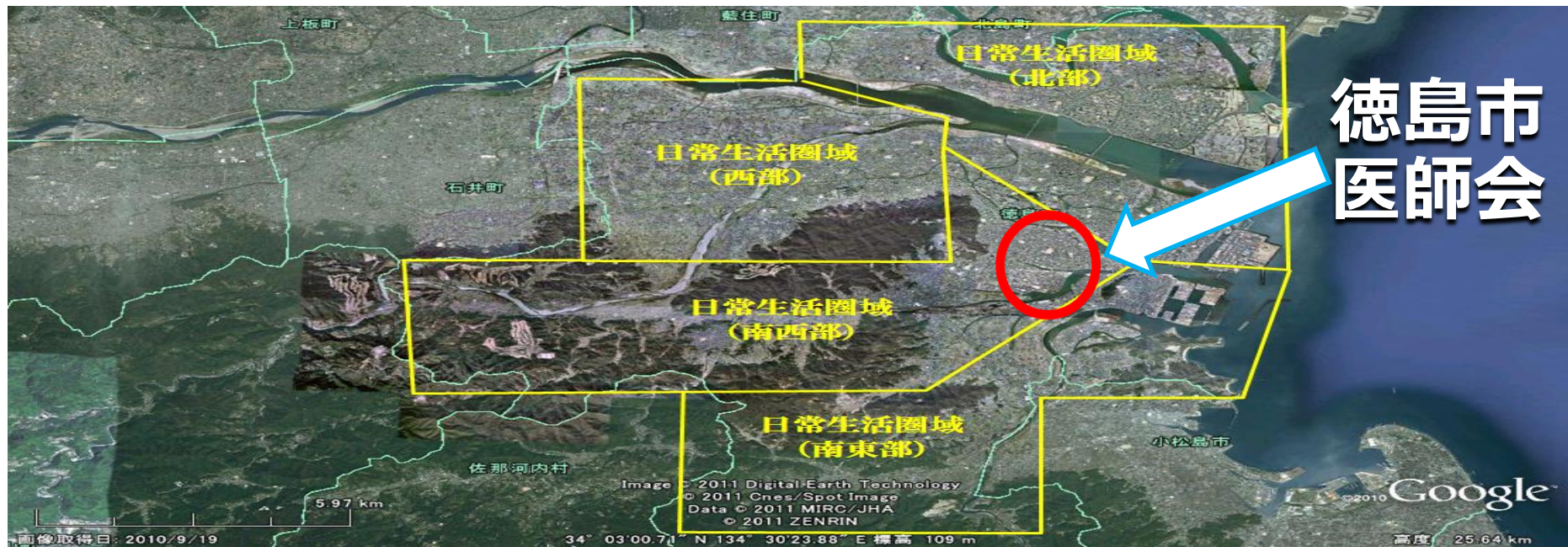
居宅介護支援事業所 112か所

老人保健施設 15施設

グループホーム 43施設

地域包括支援センター 徳島市内で 1ヶ所
徳島市医師会が運営

徳島市 地域包括支援センター



地域包括支援センター 徳島市内**1**か所

〔徳島市内**唯一**のセンターを徳島市から市医師会が運営を委託〕

〔スタッフ数は約**50**名、年間相談件数は**3万4千**件超〕

※日常生活圏域は4圏域（北部・西部・南西部・南東部）

ブランチとして中学校区毎に**14**か所の在宅介護支援センターを設置

徳島市内の医療と介護を医師会が運営している

徳島市医師会



Tokushima City
Medical Association



会員数 626人（開業医 41% 勤務医 59%）

【日本医師会】

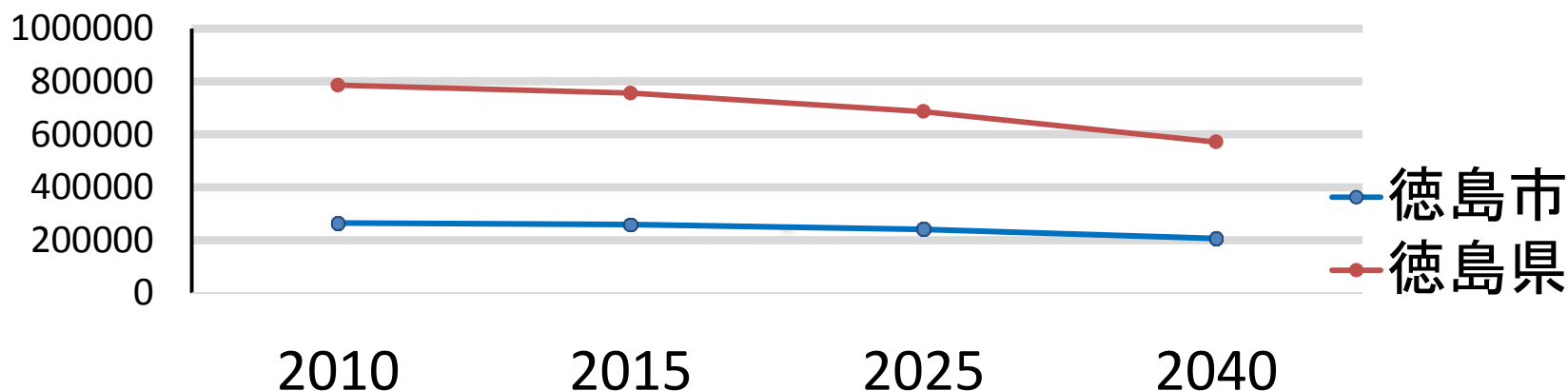
高い倫理観と使命感を礎に国民の生涯にわたり健康で安全・安心な医療提供体制の構築。

医療の公共性を重んじ医療を通じて社会の発展に尽くす。

【主な事業内容】

- ・夜間休日急病診療所
- ・学校保健：学校医、予防接種
- ・検診：特定検診・保健指導、がん検診、物忘れ検診
- ・介護事業：訪問看護ST、地域包括支援センター、居宅介護支援センター、ヘルパーST
- ・救急防災対策、糖尿病対策、感染症対策、禁煙対策、産業保健

どうなる?! 徳島市



	2012年 (高齢化率)	2035年 (高齢化率)
徳島県	77万6千人 (28%)	62万2千人 (36.7%)
徳島市	26万8千人 (24.2%)	22万2千人 (34.2%)

20年後

徳島県 人口 20%減 高齢化率 8.7%増

徳島市 人口 17%減 高齢化率 10%増

今以上に医療・介護の需要が急速に増加

急性期病院(4病院)

- ・ベッド稼働率 85%
- ・平均在院日数 11.7日
- ・救急を断った件数 373回/年
- ・退院調整困難者 35件/月

徳島大学病院

- ・ベッド稼働率 86.2%
- ・平均在院日数 17.3日
- ・救急を断った件数 回/年
- ・退院調整困難者 117件/月

徳島県立中央病院

- ・ベッド稼働率 91.3%
- ・平均在院日数 9.2日
- ・救急を断った件数 754回/年
- ・退院調整困難者 20件/月

徳島赤十字病院

- ・ベッド稼働率 89.0%
- ・平均在院日数 8.7日
- ・救急を断った件数 88回/年
- ・退院調整困難者 0件/月

徳島市民病院

- ・ベッド稼働率 75.4%
- ・平均在院日数 11.7日
- ・救急を断った件数 278回/年
- ・退院調整困難者 4件/月

救急医療が崩壊する？
救急医療・介護の需要が急速に増加

高齢化

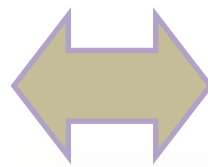
2025年問題

在宅医療の整備がカギ。



急性期病院

**慢性期病院
介護施設**



在宅医療

徳島市医師会

H.18年～「在宅医療連携委員会」発足

「在宅療養支援診療所」

病院完結型⇒地域完結型
役割分担の時代へ

急性期病院、回復期病院、慢性期病院、診療所

「がん対策推進基本法」

- ・緩和ケアの推進
- ・がんになっても安心して暮らせる社会
- ・療養場所の選択肢

切れ目のない連携

在宅医療の整備

将来の徳島において、

安心して療養できる選択肢の1つとして

「質の高い在宅医療」



Tokushima City
Medical Association

徳島市医師会 在宅医療連携委員会(H.18～) 在宅医療整備計画



①縦の連携

在宅医療支援センター

在宅緩和ケアネットワーク

後方支援病院ネットワーク

がん診療連携拠点病院・ホスピス・在宅緩和ケアネットワーク・行政
の連携会議

②横の連携

在宅療養支援診療所24時間ネットワーク

③情報発信

HPで在宅療養支援診療所の紹介(市民や入院医療機関向け)

④スキルアップ事業

在宅医療連携研修会(勉強会)

厚生労働省

在宅医療連携拠点事業(モデル事業)

目的:全国各地に在宅医療の拠点を作る。

平成**23**年度 在宅医療連携拠点事業

採択事業所:全国**10**ヶ所

平成**24**年度 在宅医療連携拠点事業

採択事業所:全国**105**ヶ所(徳島県 4ヶ所)

- ①**多職種協働**による支援体制の構築
- ②**患者情報を共有**したサポート体制
- ③**医療と介護が連携**した在宅医療の提供
- ④**市町村行政との協調体制**

必須事業

- ①**多職種連携課題の解決策抽出**
- ②**在宅医療従事者の負担軽減支援**
- ③**効率的な医療提供**
- ④**住民への普及啓発**
- ⑤**在宅医療に従事する人材育成**

徳島市医師会 在宅整備計画 (平成18年～)

①縦の連携

在宅医療支援センター
在宅緩和ケアネットワーク
後方支援病院ネットワーク
徳島スクウェア会議

②横の連携

在宅療養支援診療所24時間
ネットワーク

③情報発信

HPにおいて在宅療養支援診
療所の紹介

④スキルアップ事業

在宅医療連携研修会

24年度在宅医療連携拠点事業 必須事業

①多職種連携の課題に対する解決策 の抽出

多職種連携会議(年4回)

②在宅医療従事者の負担軽減の支援 24時間対応する在宅医療提供の構築 情報共有システムの整備

③効率的な医療提供のための多職種 連携

アウトリーチ、資源マップ作成

④在宅医療に関する地域住民への普 及啓発

市民公開講座、パンフレットの配布

⑤在宅医療に従事する人材育成

都道府県リーダー研修
地域リーダー研修



拠点事業で明らかとなった

徳島市の **問題**

1. 徳島市に在宅医療を整備する部署がない
2. 在宅医療に対する市民の理解度が低い
3. 在宅医療に参入するかかりつけ医が少ない
4. 急性期病院における在宅医療への理解不足

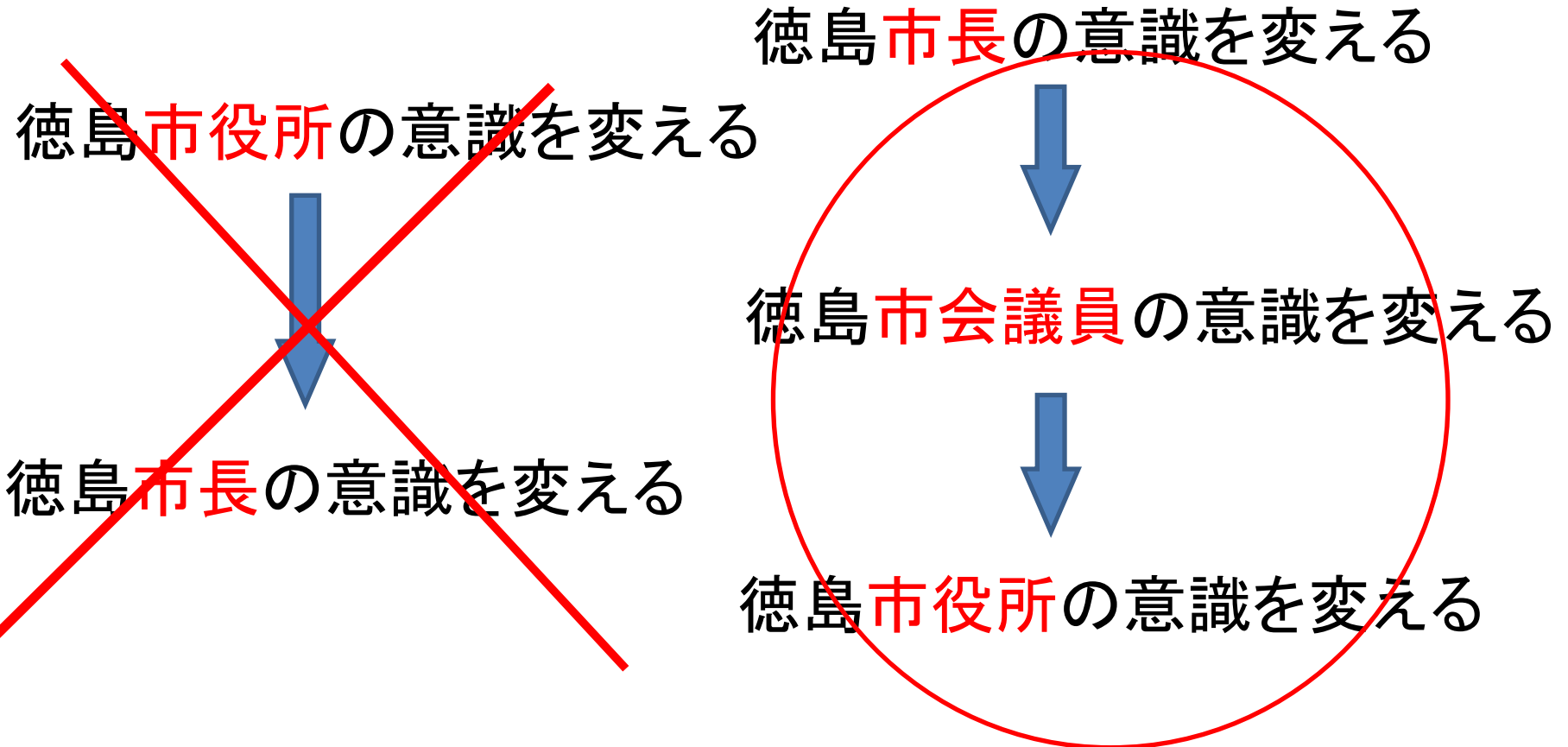
拠点事業で学んだこと

県と市町村と医師会がタッグを組む。

三者が将来を見据えた計画を立て、着実に実行する。

徳島市に、どう動いてもらう？

「徳島市」の意識を変える



※徳島県は必ずオブザーバーで



「徳島市医師会と市長との懇親会」 平成5年頃～



市長等に対し、その時の社会情勢に
応じて必要な施策を市医師会から提案。

原秀樹市長(現職3期目) 平成16年～



平成24年、25年の提案

1. 徳島市役所内に、在宅医療の**担当部署**を設置。
2. 在宅医療における市民公開講座の**合同開催**。
3. 徳島市役所内に在宅医療に関する市民からの**相談窓口**を設置。





H.26市民公開講座 熊本市長 来県

第2回 徳島市医師会 在宅医療市民公開講座

これからの在宅医療・介護は、 どうあるべきか

～超高齢社会への対応～

平成26年
日時 **2月9日** 14時30分～16時30分

場所 **徳島グランヴィリオホテル**
1F ダイアモンド
徳島市万代町3-5-1 TEL 088-624-1111

在宅医療の先進都市である熊本市から、幸山市長をお迎えして、一般社団法人徳島市医師会主催(共催:徳島市の「市民公開講座」が開催されます。私も、パネリストとして、これからの在宅医療・介護のあり方について一緒に考えたいと思っておりますので、より多くの皆様のご来場をお待ちしております。

講演者 **山本 寛子**

申込み方法 下記申込み先まで、お電話又はFAX・メールにて、希望講座・住所・氏名・電話番号・職業をご記入の上、お申込みください。(在宅医療についてご質問のある方はお寄せください。)

応募締切 平成26年1月31日(当日消印有効)

・プログラム・

14:00 受付・開場
14:30 開会 主催者あいさつ 徳島市医師会長 豊崎 暲

14:40 基調講演
「だれもが住み慣れた地域で
いきいきと暮らせるまちづくり」
～熊本市の在宅医療について～
熊本市長 **幸山 政史**

15:10 講演
「徳島市医師会における在宅医療の取り組みについて」
徳島市医師会 在宅医療連携委員長 豊田 健二

15:20 休憩

15:30 パネル
ディスカッション
コーディネーター/ 徳島県保健福祉部副部長 石本 寛子
パネリスト/ 熊本市長 幸山 政史
徳島市長 原 秀樹
徳島市医師会長 豊崎 暲
徳島市高齢福祉センター長 南 修子



徳島市議会議員との意見交換会

【要望項目】

1. 徳島市役所内に、在宅医療の**担当部署**を設置。
2. 在宅医療における市民公開講座の**合同開催**。
3. 徳島市役所内に在宅医療に関する市民からの**相談窓口**を設置。





徳島あんしんタッグ

～徳島市と徳島市医師会による
在宅医療・介護整備の意見交換会～

徳島市行政 + 徳島市医師会 + 徳島県
オブザーバー

第1回 平成24年11月
第2回 平成25年4月
第3回 平成25年5月
第4回 平成25年7月
第5回 平成25年10月
第6回 平成26年5月
第7回 平成27年1月

平成24年度 拠点事業で得たこと。

- ・徳島市の将来予測から在宅医療の新整備目標を設定。
具体的な将来予測から新たな整備目標を設定した。
- ・市町村と医師会がタッグを組んで地域を支える。
何となくそう感じていたが、明確に打ち出してもらったことで背中を押された。
都道府県地域リーダー研修会に行政と共に参加したことで、着地点を共有出来た。
- ・クラウドを利用した情報共有。
拠点事業費を利用することでクラウドを利用した情報共有環境を実現することが出来た。
- ・全国の在宅医療の現状を知り、取り組む人たちと知り合いになれた。
先進地域の方々や様々な立場で拠点として頑張っている方々と率直な意見交換が出来た。

拠点事業で感じたこと

・地域格差の拡がり

他の進んでいる地域が羨ましくて、自分たちが出来ていないことが歯痒い。

地域格差を、どう解消する？

4

四国四市(徳島・高知・松山・高松)医師会長会議



在宅部会WEB会議

問題

在宅医療への取り組みに地域格差が生じ、拡大。

築、

要因：国策への反応スピード、行政との良好な連携体制の構築、
医師会が主導か否か・・・

環境

四市はともに四国の県庁所在地であり、互いに持ちうる医療機能や医療資源は比較的似ている。
直面する課題や解決策も似ているはず。

解決策

今までに培ってきたノウハウを互いに参考にし、課題に対してともに知恵を絞ることでスピード感を持って地域の在宅医療を整備することが可能。





議論(80分)



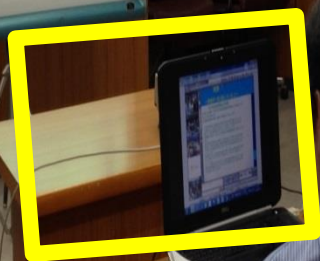
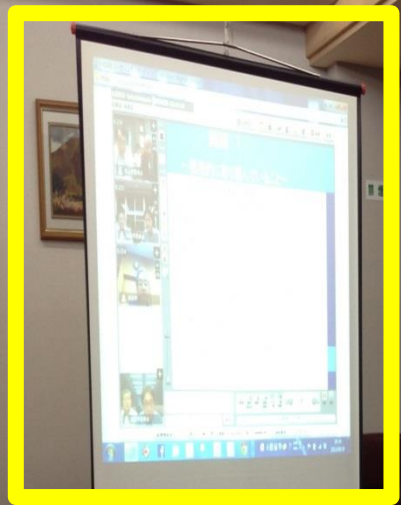
各医師会持ち時間 **10分** (議題提示**3**分、質疑応答**7**分)

紹介してください 教えてください

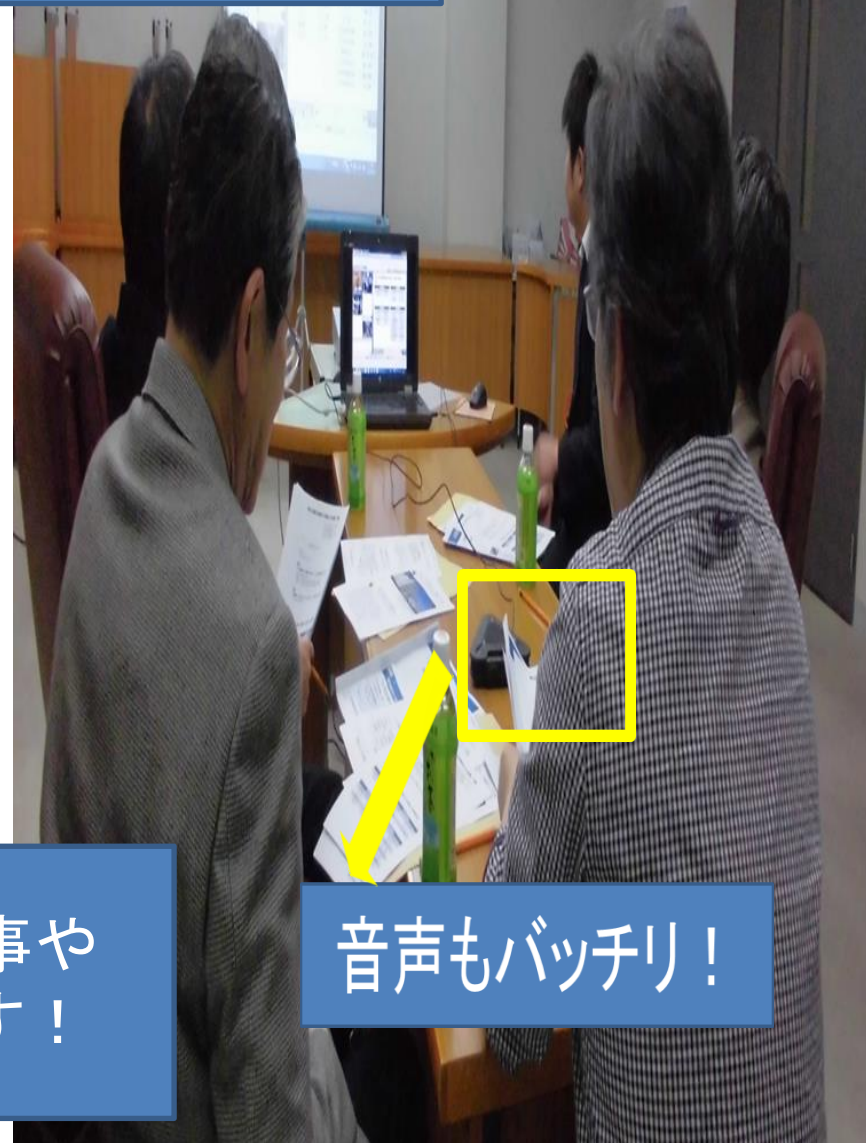
議論1 今、在宅医療に対して積極的に取り組んでいること。他の医師会に紹介したいこと。

議論2 在宅医療に取り組んでいる中で、行き詰まっていること、他の医師会に聞いてみたいこと。

スクリーンに大写しで。
各医師会の作成したスライドも
スクリーンで見られます！



モニターに他の医師会の担当理事や
事務局の皆さん達が写っています！



音声もバッチリ！

(新)在宅医療の整備に対する基本方針

- 1. かかりつけ医**：自分の患者は最期まで自分で診る体制。
医師会：できるだけ多くのかかりつけ医が在宅医療に参加できる環境整備(多職種連携、情報共有)。
- 2. 徳島市医師会と行政(徳島市、徳島県)の協力体制の構築。**
医師会：地域医療を担う役割を持つ、かかりつけ医の集合体。
行政：医療・介護体制のグランドデザインを描く役割を担う立場。
官民が互いに理念を共有し、協調し合って在宅医療を整備。
- 3. 徳島市民への理解と協力依頼。**
限られた医療資源(入院ベッド、介護施設等)をシェアしよう。
病状が軽いうちは、できるだけ「住み慣れた家で過ごす」という地域の雰囲気作り。
- 4. 医療と介護との連携体制。**



Tokushima City
Medical Association

地域医療再生基金の活用

徳島市在宅医療連携拠点事業



徳島県

徳島市(補助事業者)

平成25年10月～平成28年3月

【徳島市医師会】(実施事業者)
※徳島西医師会と連携

徳島市在宅医療連携協議会
会長 ⇒ 市医師会長 副会長 ⇒ 市保健福祉部長
事務局 ⇒ 市医師会

拠点事業の方針を決定

徳島市医師会
徳島西医師会
徳島市歯科医師会
徳島市薬剤師会
徳島県医師会

徳島県慢性期医療協会
徳島県看護協会
訪問看護ステーション連絡協議会
徳島保健所
徳島市地域包括支援センター

徳島県介護支援専門員協会
博愛記念病院
徳島往診クリニック
徳島市保健福祉部
徳島県医療政策課

必須事業

① 多職種連携の課題の解決策の抽出

② 多職種連携体制・24時間対応体制の整備

③ 在宅医療に従事する人材の育成

④ 住民への普及啓発

⑤ 在宅医療に関する相談窓口の設置



Tokushima City
Medical Association

徳島市在宅医療連携拠点事業

必須事業

① 多職種連携の課題の
解決策の抽出

② 多職種連携体制・24
時間対応体制の整備

③ 在宅医療に従事する人
材の育成

④ 住民への普及啓発

⑤ 在宅医療に関する相談
窓口の設置

⑥ 地域格差の是正

質の高い在宅医療

連 携
情報の共有

連携

情報の共有

ケアマネ・ブラッシュアップセミナー
地域リーダー研修の参画
在宅緩和ケア研修会

市民公開講座
HPで在支診や在宅医療の取り組みを紹介
出張出前講座の開催

在宅医療支援センター

とくしま在宅医療と介護の総合相談支援センター

徳島市地域包括支援センター

四国四市医師会 在宅部会 WEB会議

多職種

キーパーソン3
ケアマネ・プラス
三師会 在宅部会
ケアマネタイムの作成

同職種

在支診24時間ネットワーク
後方支援病院ネットワーク
在宅医療ネットワーク

行政

徳島あんしんタッグ

ICTを活用したクラウド型情報共有システム運用

とくしま在宅医療と介護の総合支援センター

平成26年11月開設

医療

【在宅医療支援センター】

平成26年4月～

- ・職員数：常勤2人
- ・相談件数：15件/月

介護

【地域包括支援センター】

平成18年4月～

- ・職員数：約50人
- ・相談件数：2800件/月



両センターをワンフロアに集約し、一体的に運営できる環境を実現。

「地域医療介護総合確保基金」 どう使う？

徳島県
医療計画 策定

51 医療機関（医療政策を担う中核的医療機関）
13 医師会
4 社団法人
2 医育機関

徳島あんしんタッグ
（徳島市十市医師会）



Tokushima City
Medical Association

徳島市医師会からの提案

「質の高い在宅医療の整備」

市町村行政との連携

資源が似た地域との連携

ご清聴 ありがとうございます。